※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	公共　（教育図書）						
副教材等	ライブ！2023 公共、現代社会を考える　クラウド配信版　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒の皆さんが近い将来、社会に参画し、課題と向き合い、それを解決する力を身につけられるように様々なことを学習します。定期テストや小テスト、授業プリントや調べ学習、討論や発表など様々な課題に対してバランス良く取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（2）現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

（3）よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本の公共思想	日本と欧米の公共概念の違いに注目し，近代日本において欧米型の公共圏がどのよう に形成されていったかを学ぶ。 また柳田国男の民俗学を通じて，伝統的な日本人の倫理的規範や価値観がどのよう なものであったか学習する。	a:幕末から明治にかけての公共的政治機構の発展について理解してい る。日本における「 おおやけ」 と欧米における「 パブリ ッ ク」の違いについて理解している。 b: 自分がどの思想家の理論に共感したか，その理由を表現している。現在の日本社会の公共的なあり 方は先人の政治的取り 組みの成果であることを表現している。 c: 自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考している。歴史の流れの中に私たちは生きていて，公共的空間を未来へつないでいく 存在であるという 自覚を持っている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	地球温暖化問題	日本がどのよう な方針に基づきエネルギー政策を進めているかを学ぶ。	a: 日本の環境問題への取り組みの内容を理解している。世界の先進国と日本のエネルギー政策の違いについて理解している。先進国と途上国の立場の違いを理解している。 b: 日本がどのよう な方法でCO^2 を削減できるか思考している。地球温暖化問題	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

			について， 自分の身の回りの生活と， 世界規模の視点の双方の観点から， 考えを表現している。 c：CO^2 削減のためには， 一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し， 当事者として何をすべきか思考している。			
	民主政治の歴史	近代ヨ ーロッ パで， どのよう に民主政治が形成されてきたかを学ぶ。 社会契約説と市民革命の関係に着目させる。	a：社会契約説， 自然権， 三権分立など民主政治の重要概念を理解している。 マグナカルタから世界人権宣言にいたる人権をめぐる世界史の流れを理解している。 b：個人と国家の関係を契約という 視点から捉え思考， 表現している。 c：自らが持っている人権（ 自然権） について自覚を深めている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習
２学期	本国憲法の三つの原理	国民主権， 基本的人権の尊重， 平和主義の憲法の原理についての知識を習得している。	a：大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点を理解している。国民主権， 基本的人権の尊重，平和主義， 憲法の３ つの基本原理について理解している。憲法改正の手続きを理解している。違憲審査権と憲法の関係について理解している。 b：立憲主義の意義について適切に表現できている。 憲法改正の是非について， 自ら思考している。 c：巻末の日本国憲法の条文を読み， より 理解を深めようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	法と社会	社会が法やマナー，道徳などのルールにより維持されていること，なかでも法が強制力をもち、人を拘束する力を持つことなど法の特徴をつかみ，法の分類，階層関係について学ぶ。	a：法と道徳との相違点について理解している。日本の法体系，法の分類，法の対象について理解している。「 法の支配」と「 法治主義」の相違点について理解している。 b：法の限界を理解し，法の実効性を高めるための手段について思考している。よりよい社会の実現のために法がどのよう な機能を果たしているか表現している。 c：法について関心を持ち， 巻末の法文にあたろう としている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	日本の司法制度	三権分立において司法権の果たしている役割を理解させる。とくに裁判所が国会に対して持つ「違憲審査権」の重要性を理解させる。	a：三権分立における司法の役割を理解している。 裁判の公正さを保つためのさまざまな制度改革について理解している。 b：司法に関するさまざまな仕組みを裁判の公正性という観点から表現している。 c：憲法訴訟について自ら調べ，違憲，合憲の判決について思考しようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	選挙と政治参加	民主政治の基礎を支える選挙の仕組みについて学習し，さまざまな制度がなぜ必要とされるのかを理解させる。また民主主義を維持していくために私たちの主権者としての自覚が重要である点を強調する。	a：民主主義とは，国民に主権があるという 基本的な考え方に基づき，これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解し，その内容を読み取っている。 b：個々の選挙制度についての利点と難点を，民意をより よく 反映させるという観点から説明することができる。 c：選挙に関心をもち，18歳になるときを想定して，主権者としての自覚を深めている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	国会と内閣	国民主権の原則の下で国会が国政の要であることを理解し立法の手続き，議員内閣制，行政の仕組み，三権分立について理解を深める。	a：国会の仕組みや立法手続き， 行政組織， 三権の均衡など基礎的な知識を習得している。官僚が権力を持つことの問題点を理解している。 b：国会と内閣および行政組織の関係を理解したうえで，官僚政治の問題点，政治主導に転換した現在の課題点について思考し表現している。 c：私たちの民意を実現するために，よりよい政治の仕組みを考察しようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

３学期	国家主権と領土	国家の要件，国家間の紛争解決手段 現在日本が抱えている領土問題などについての知識を習得し，日本と国際社会がどのよう な関係にあるか，どのよう な課題があるかを学習する。	a：領域， 国民， 主権の国家の三要件について正確に理解している。国家と国家の関係を定めている国際法，条約について歴史的経緯を含め理解している。日本の領土問題に対して日本政府が示している方針を理解している。 b：国家とは何かという抽象的な見方・考え方に基づき，具体的な領土問題，日本人拉致問題について思考している。 c：日本は近隣諸国との摩擦をどのように解消すべきかという 問題について思考している。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	労働者の権利	労働者には，憲法や法律で保障されたさまざまな権利があること，権利を行使するために労働組合が組織され，労働基準監督署が設置されているなど，労働法制の基本構造を学習する。	a：労働者の権利と，それを守るための法や機関について理解している。労働問題に直面した場合， どのよう な手段を取ることができるか具体的に理解している。求人票を読み取ることができる。 b：労働者の権利を守ることがなぜ重要なのかということを理解し，労働組合の衰退について思考している。 c：実際に起こっている労働問題について自ら調べ労働法がどのように適用されているか知ろうとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	市場経済の役割と限界	財やサービスの価格は，市場が正常に機能すれば需要と供給のバランスによって自動的に決定される市場のメ カニズムを学ぶ。市場は万能ではなく独占や寡占により 自由で公正な競争が阻害されたり ，公害などの外部不経済が発生するため， 法による規制や公的機関による介入が必要であることを学ぶ。	a: 需給曲線を読み取り ，価格が決定するメカニズムを理解している。市場のメ カニズムを阻害する独占や寡占について理解し，これを規制するための法律や仕組みについての知識を習得している。外部経済 外部不経済について理解している。 b: 市場のメカニズムを用いて，たとえばコロナ禍でのマスクの高騰などの実際の経済現象を説明できる。 c: 市場経済が招く倫理的な問題について思考している。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・定期考査 ・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度